

令和7年度 第3回 学校運営協議会 議事録

校名	府立茨木西高等学校
校長名	森脇 正浩

開催日時	令和7年3月2日(月) 16:00 ~
開催場所	府立茨木西高等学校 本館1階 校長室
出席者(委員)	山名 正志会長、谷 郁夫副会長 小出 恵出委員、藤田 勝宏委員(web)、清原 隆志委員、山口 裕子委員
出席者(学校)	森脇校長、武内教頭、神牧事務長、末永首席、渡邊首席
傍聴者	0名
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年第3回 学校運営協議会 次第 ・令和6年度 学校教育自己診断 ・令和7年度 学校教育自己診断(結果) ・令和7年度 学校経営計画及び学校評価(最終報告) ・令和8年度 学校経営計画及び学校評価(案) ・2025年度 進路状況(3月末まで)
備考	

<ul style="list-style-type: none"> ・学校長挨拶 ・委員長挨拶 ・協議 令和7年度 学校教育自己診断(結果) 令和8年度 学校教育自己診断(案)
--

協議内容・承認事項等(意見の概要)

<p>【令和7年度 学校教育自己診断(結果)】 昨年度がとても上がったので、今年度上がっていないように感じるが、詳細をみると「とてもそう思う」という結果が増えているので肯定的な答えが増えている。 [1]教職員アンケートより「他の先生が授業見学にくる」△だが実状としてどうか →自分の教員目標を設定している人がおり、授業見学をしやすい環境にある</p> <p>[2] ・保護者の方、適切な進路指導 肯定回答率△だがどうか →教員との懇談がないクラスはあり、肯定的な回答ができない家庭がある。保護者と生徒によってとらえ方によって違う回答になる。 ・進路実現率が高いことを重要視すべきではないか ・産近甲龍→関西大学の合格者数を反映させるべきではないか</p> <p>[3] ・避難訓練の目標の指標を自転車の事故や講演会の指標に変えてはどうか ・悩みがあるときに相談したいと思う先生がいるということはいいこと ・通学安全指導に関して、次年度から高校生は切符をきられる対象だが、どのようなことをしていくのか →現在、次年度授業にどのように導入していくのかは検討中</p> <p>[4] ・オーストラリア海外研修に関して、海外研修に行く機会や人数を増やすことを重要視していただきたい。 ・教職員の行事のアンケートにおいて、教員と生徒アンケートが逆なのはなぜか(教員の返答は魅力が下がっている・生徒は魅力が上がっている) →教員が魅力あるものがもつてできると思う高い期待値を背景に回答しているため数字が低く出たものではないか:それ自体は悪いことではなくむしろ良いこと</p> <p>[5] ・外部関連期間との合同ケース会議の開催は必要なのか? 合同で行うより、個別に適切な会議を実施すべきではないか →合同という言葉を外すべきではないか。 →外すことを決定</p> <p>【令和8年度 学校教育自己診断(案)】 ・大きな変更がない ・時間外労働の教員を0にする (委員より)目標の設定の数が多。(超えないといけない目標が多い)これから、減らしていくべきではないか</p> <p>【その他】 ・中学校で実施している部活動の外部指導員は高校ではどうなっているか ・高校では合同部活動すなわち大阪モデルの一部の部活動で外部の方に指導を行っていただいているが外部指導者に活躍していただいている。他に文化部などでも外部人材にお世話になっているが、限りある予算の中で回数に制限がある。 (委員より)より活動を図るために外部人材予算の増額を検討してほしい</p>

次の会議日程

日時	令和8年6月(予定)
会場	校長室